

平成26年度市政懇談会実施記録調書

1. 実施対象	対象地区	二中学区
	参加状況	61名
2. 実施日時	平成26年6月22日(日)午前10時00分～午前11時54分	
3. 実施場所	市毛コミュニティセンター	

実施内容（発言，要旨，集約事項等）

1. 津田コミセンへの市民課窓口の設置について (市民生活部)
2. 堀口小学校通学路の安全確保の整備について (都市整備部)
3. 勝田駅西口の整備について (都市整備部)
4. 防犯カメラの設置について (市民生活部)
5. 国営ひたちなか海浜公園の除染・市報の記事について (市民生活部・企画部)
6. 市の地域支援事業について (福祉部)
7. 公園遊具更新工事について (都市整備部)
8. コミュニティーバスの停留所について (都市整備部)
9. 防犯灯のLED化について (市民生活部)

◇事前質問1（津田コミセンへの市民課窓口の設置について）

高齢化が急に進んでおり、車の運転も困難な高齢者も増えてきている。住民票、印鑑証明などの取得を津田コミセンでも可能にして欲しい。

■市民生活部

津田コミュニティセンターへの「市民課窓口設置」についてお答えします。

現在、市では、市毛・佐野・前渡コミュニティセンター内の3箇所に市民課出先窓口を設置しておりまして、1日平均利用件数は、3施設合計で120件(市毛窓口：49件/日)となっております。

ご質問のとおり、高齢化によりまして、出先窓口の需要はますます高まってくると思われ、すし、「今後の出先窓口のあり方」については、検討を要する課題であると認識しております。

県内市町村の一部では、コンビニを活用して、住民票などを交付している事例はありますが、本市においては、「地域の特性」や「地域間のバランス」、あるいは「事務の執行体制」など、検討すべき点が数多くあります。また、今後の窓口利用の動向や利用形態などを、しっかり把握する必要もあろうかと思われ、す。従いまして、「新規の窓口設置」につきましても、慎重に見極めるざるを得ないと考えておりますので、当面は、最寄りの出先窓口等でのご利用をお願いいたしたく、ご理解のほどよろしく申し上げます。

◇事前質問1 関連

津田は、高齢化がひたちなか市で1番進んでいる地域と我々は思っております。敬老会の増えていく数で推察できるのですが、そういう事で一人住まいの方や車の免許証を返す方も増えております。市毛まで自転車で行くのも大変だという意見もありますので、是非ご検討を続けていただけるようによろしくお願ひしたいと思われ、す。

■市民生活部

窓口の設置という形の中で、検討する材料が多々あると考えております。高齢化に伴って交通弱者が増えるという部分もありますので、市では現在、コミュニティバス等で、市民の足になるように運行させていただいております。ルートの変更など見直し、マイクロバスを使ったコミュニティバスでやらさせていただいておりますのでその辺を含めましてよろしくお願ひします。

◇事前質問2（堀口小学校通学路の安全確保の整備について）

昨年質問し、幅員の狭い道（乗用車1台分）から校庭への暫定道路を設営していただいたが、まだ半分以上幅員の狭い道路を通行する必要があるため、安全な通学道路の整備を継続して欲しい。

■都市整備部

地元自治会及びPTAからの堀口小学校通学路改善につきましては、昨年もご要望いただき、平成25年度より現道通学路（市道120号線）の南側沿道地権者の協力を得ながら、暫定通学路の整備を進めております。西側については、平成25年8月に堀口小校庭に直接児童が入れるよう約50mの暫定通学路を整備いたしました。東側45mにつきましては、沿道地権者のご協力を得られるよう継続して交渉を進めているところでありますが、家屋移転を伴いますの

で、見通しは立っているものの、移転にご協力いただく地権者のご事情もありまして本年度末に整備できる見通しとなっております。

◇事前質問2 関連

整備に時間が掛かるようであれば、今砂利敷きになっていますので、子供達が歩く時に転んだりしている子が多いので、その辺をちょっと整理していただければと思っておりますのでよろしくお願いします。

■都市整備部

担当と相談させていただきます。

◇事前質問3（勝田駅西口の整備について）

駅西側の整備が完了し明るい環境になったが、従来と比較して利便性・安全性が高まったとは言い難い。今回の整備に当たり、駅西を利用することが多い「二中学区の住民の意見」をどのように収集し、どこまで取り入れていただけたのか疑問が残る。

堀口方面から渋滞解消策として左折信号が設置され、以前に比べかなり渋滞が解消されたが、今後、スクランブル交差点、歩行者用信号の青の時間延長など対策を検討して欲しい。

■都市整備部長

JR勝田駅西口広場につきましては、これまで、入口が分かりづらい、駅前交差点の信号待ちを嫌いドライバーが駅前広場を通り抜けする、一般車と公共交通が混在する、といった広場内の安全確保が課題で、議会や市民の方々からも、度々改善要望が寄せられていました。

このため、平成21年度に交通量の実態調査と併せ、鉄道、バス・タクシー、警察、関係企業及び地元自治会代表者(勝田本町自治会・役員会)からヒアリングを重ね、現状の駅前広場の問題を浮き彫りにし、整備方針をまとめました。この方針に基づき、西口駅前広場を平成24年度に改良しましたが、これまでのところ、信号の改善が図られたことも含め、利用者からは単純でわかりやすく、交通の流れがスムーズになった、との評価を得ているところです。

ご指摘にあった堀口方面から徒歩で駅に向かうケースでは、これまで広場の真中を直線で移動できたのが、整備後は広場の外側を迂回するため、距離が若干長くなり(南回りで約50m、北回りで約30m)、不便さを感じてのことと思われるが、整備前の歩行者の移動は、駅利用者以外の車も自由に通過できた信号のない横断歩道を横断していました。これらを整備改善したため、歩行者にとっての安全性は格段に高まったと考えております。

また、歩行者用信号時間の延長についての対策ですが、整備後の信号は歩行者の安全性に配慮して歩車分離式になりました。このことによって、信号切換え回数が1コマ増えたため、全体の交通の流れに影響を及ぼさないよう、西警察署では信号機の時間配分について現場を確認しながら最適な時間の調整を行ってまいります。

今後とも、歩行者の安全対策を含め、最適な交通の確保ができるよう、西警察署と信号時間の調整をしてまいりますので、ご理解願います。

また、スクランブル交差点(斜め横断)については、横断歩道は、健常者から足が弱めの高齢者の方まで、1回の信号で安全に横断できる時間が必要となり、横断歩道設置においては、延長15mを原則として、できるだけ短めの横断延長で設定されております。(道路構造令、

横断歩道計画の原則より)

以上のことから、通過する交通もある変則3差路、十字路で交通処理も大変難しく、かつ西口駅前交差点のような大きな交差点でのスクランブル交差点化(斜め横断、33m)は、横断歩道の延長、及び信号1コマの時間的制約により、安全性に問題が残り、適当ではないと考えます。

◇事前質問4 (防犯カメラの設置について)

最近、神社火災、空き屋放火、車両放火などが多発し、空き巣などの犯罪も増加傾向にあり住民の不安が増している。

そのため、消防分団による巡回、自治会による安全パトロールなどを行い、未然防止に努めているが、その現場を捉えることは困難を極めている。安心・安全なまちづくりを進めるために、防犯カメラを設置することはできないか。

設置には多くの費用等が伴うため、市において公共施設や犯罪の発生しやすい場所への設置を検討して欲しい。

■市民生活部長

防犯カメラにつきましては、警察調べによりますと、現在市内には民間、公共施設等に1,000台を超える防犯カメラが設置されております。

新たな設置に関しましては、地域の実情や地理的条件等を勘案しながら、警察をはじめ各関係機関と協議してまいりたいと考えております。

ご質問のとおり、二中地区においては、不審火による火災や空き巣被害などが発生しております。

犯罪の抑止には、何よりも地域の方々による監視の目が効果的であると思われまますので、現在も活動いただいている、地域一体となった防犯パトロール等の活動を支援し、地域の安全・安心の推進に努めてまいります。

◇事前質問4 関連

回答を伺いますと、防犯カメラを設置しないので、地域でやってくれと聞き取れる感じがしますので、そこを確認させていただければと思います。

■市民生活部長

カメラ設置につきましては、公共施設または民間の事業者施設等であると思えます。場所によって、モニターを含めてのどのような形で設置するのか、そういう調整関係も含めまして協議が必要かと。警察からも防犯カメラの要請的なものがありますが、公共施設への設置または民間施設にお願いする部分も含めて、今の状況の中では返事は難しいところでございます。

◇事前質問4 関連

地域に丸投げしている訳ではないという事で認識してよいでしょうか。

■市民生活部長

言葉が足りないかもしれませんが、地域で防犯パトロールもやっただけでいる事は重々理解しているつもりですし、地域に丸投げしている事ではございません。市のほうでも警察と一緒にあって、その辺の協議をさせていただいているところですので、よろしく申し上げます。

司 会

それでは、これより懇談に入ります。

本懇談会を実り多いものとするために、多くの方よりご発言をいただきたいと思います。質問やご意見を簡潔に1件ずつお話しいただけますと、円滑な進行ができるかと思いたいで、ご協力をお願いいたします。

ご意見、ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。係員がマイクをお持ちしますので、お名前を述べられてから、ご発言をお願いいたします。

◇質問5

2点ほどお伺いします。1点目は、国営のひたちなか海浜公園の除染についてお伺いします。ご存知のとおり、3.11の福島第一原発の事故から3年3ヶ月が経過しましたが、私個人としては原発事故はまだまだ何も終わっていないと思っております。先ほど、市長から冒頭に話がありましたが、東海村の原発についても原子力協定の見直しなどいろいろ話がありました。是非とも市長には、市民の安全のために頑張ってもらいたいと思います。海浜公園はマスコミ報道によると、5月23日に園内でこれまで測定していない所で測定をしたところ、みはらし広場の飲食エリア・ひなの林・大草原の3ヶ所で除染の目安を超えた0.7 μ Svが測定されたという事が報道されました。その後、5月24日に15,000 m^2 を立ち入り禁止にして、6月9日より芝生を取り除く除染作業を開始したと報道がされました。今年も8月に4日間、ロックフェスが開催されますが、来場者が減るのではないのではと私は心配しております。担当部署は多分、国土交通省関東地方整備局だと思いますが、海浜公園の除染等に関する情報は、ひたちなか市にどのように伝えられているのか。また、今後市はどのように対応していくのかお尋ねをしたいと思います。

2点目は市報の記事についての感想を述べさせていただきます。市誕生20周年を振り返ってという事で、シリーズでコラム欄で各部より現状・課題・将来の展望について具体的に分かりやすく記載されてまして、各部の仕事の理解を深める事ができたと思っております。どなたの発想か知りませんが、大変すばらしい発想と思っております。日頃のご苦勞に感謝すると共に、次回また各部から、全13回に渡って記事が載るという事で私も楽しみにしております。すばらしい企画だなという感想を申し上げました。

■市民生活部長

ひたちなか海浜公園の除染についてお答えします。まず、海浜公園の除染の前に、市の除染について話させていただきます。本市においては、国から年間放射線量1.0 $m\mu$ Sv以下の地域と指定されました。それを受けて、市としては子どもの生活空間の除染を行う必要があるとし、除染の実施計画を作りまして、国に手を挙げて除染を実施してきました。この中には海浜公園は含まれておりませんでした。その後、海浜公園は国の施設なので国において除染を実施することになり、園内の線量が高いところを含めて除染をし、毎月37箇所を測定し、ホームページで公表してきたところでございます。しかしながら、ひなの林、大草原、みはらし広場の一部において、マイクロホットスポットだと思っておりますが、0.7 μ Svという数値が出て除染をする状況が発生したわけでございます。月刊誌に最初掲載をされて報道され、NHK等テレビ

で報道されたのですが、その時点で市の方に連絡がありました。連絡というよりどのように対応したらいいかという連絡でした。市の生活安全課が担当になりますが、公園と話をしまして協議させていただきましたが、その時点で公園ではロープによる立入制限をしながら、今後6月から除染を行いますという言葉을いただいて、先ほど6月何日から除染が始まったという話がありましたが、除染を行いましたという連絡はまだ来ていません。ロープで立入制限を行って今後除染を行いますというところまで連絡を市で受けていると言う状況でございます。

■企画部長

2点目の市報のコラムにつきましては、誰の発案かというお話ですが、恥ずかしながら市長の指示でございます。市長は、常日頃から市報については、中学2年生程度がわかるような掲載内容ではなくては駄目だと言われております。最近の市報は、お知らせに特化しているという事もよく言われておまして、4月初めの庁議という市で政策決定をする会議の中で、市が誕生して20年になるので、20年前・10年前・現在と行政の移り変わりや今後の行政の在り方というのを、部長が直接責任を持って書きなさいという指示がありました。そういった指示から数えますと、4月25日が皮切りで10月25日までの13回、部の数でいうと13部ではありませんので、すべての部が2回という訳にもいきませんから、2回のところもあれば1回というところもあります。そういったことで急遽、企画部がトップバッターで私が書かせていただきました。その後、単に職制順ではおもしろくないので、最初に街づくりのコラムを載せてから、都市基盤の整備といった流れを考えております。今後、楽しみにしておられという事でこれから執筆する部長は、それなりにプレッシャーが掛かっていると思っておりますが、市民の方々の関心が強いという事で、今後とも一生懸命仕事をさせていただきます。ありがとうございます。

◇質問5 関連

市毛小学校の早戸城の修復問題について、かなり老朽化していましたが、やっと教育委員会の計らいで修復の見込みが立ったという事で、大変お世話になりありがとうございました。お礼を一言申し上げておきたいと思いました。

◇質問6

この前の6月18日に、国会で要支援者向けのサービスが、市の地域支援事業に移されるという事が可決されました。現在、福祉計画と介護保険計画では、26年度までが第5期として出ていますが、第6期に新しい市の福祉の政策が繁栄されると思っておりますが、私達が心配しているのは、今まで全国一律でサービスを受けられたものが、市独自の裁量のものになるという事でサービスが低下するのではないかという懸念があります。ご覧のように、今日ここにおいでになっている方私も含めて、近い将来介護保険にお世話になると思うのですが、その辺りの考えをお聞きしたいと思います。

■福祉部長

高齢者の介護の問題ですが、法律案が6月15日に参議院を通過して成立したという事で、これから詳しい内容が法律案を通過すると、国から具体的な制度について示して参りますので、それを受けてから、市はどのような体制が取れるか検討していく事になります。市としましては、介護予防・要支援関係、いわゆる介護予防に関する事業を今後、市が責任をもって行うこ

とになります。その先行事業としまして、本年度金上と高場の従前デイサービスセンターがあったところで、通所型の介護養護サービス事業をこの6月から開始しております。また、介護事業所に対して、今後市が行う要支援事業に対して協力してもらえるかというアンケートを行いまして、現在、回答に基づいて協力事業所を把握しているところです。今後国から示されます費用がいくらになるか等の問題もありますので、具体的に今の段階で事業所の方も金額がわからなければ回答できないという問題もありますが、市としても第6次の介護保険計画を作る際に、来年4月からになりますけれども現在のサービスが低下しないように、サービス水準を守れるように図って参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

◇質問7

今年の公園遊具更新工事があがっており、数年にわたり西山自治会では、利用頻度が多いので何とかしようと何度かお願いにあがりまして。その結果、取れ上げていただきましてありがとうございます。この計画はいつ頃からどんなところを狙っていくという計画が出来た時点で、自治会に公表していただけますか。というのは、遊ぶ子供にも制限をしなくてはいけないし、西山は工事車両もたくさん入る訳にはいかない地域ですので、止まっている車から砂利等を下す事が頻繁に起こりますといろいろと支障が出ると思っておりますので、お礼を言いながら、こんな事を言うのは誠に申し訳ありませんが、その辺の配慮もよろしくお願ひしたいと思ひます。いろいろありがとうございます。

■都市整備部長

これから実施させていただきますが、その際に、自治会にもよくお伝えしてやらさせていただきますのでよろしくお願ひ致します。

◇事前質問2関連

堀口小学校への通学路の安全確保という事で、本年度末を目処にというお話しをいただきありがとうございました。これで、通学路の安全性が確保できるかと思っております。ただ、これは通学路だけの問題ではないという事でご理解いただきたいと思ひます、これは武田地区の災害時の一時避難場所が堀口小学校になっております。そうすると、武田地区のほとんどが、あの細い道を通るという事実でございます。今度、防災訓練がございますが、その時に武田から堀口小に避難する時、その安全性の確保の上でも、本年度末までに完成させるという事の回答いただいた中で、これに対しても非常に効果がある中味です。災害時の通路を確保するという意味でも早急にお願ひしたいと思ひます。ぜひとも、本年度中によろしくお願ひいたします。

■都市整備部長

回答は先ほどの説明のとおりとなってしまいますが、家屋の移転が伴いますので、それが完了しないと工事はできませんので、移転が完了次第、工事を始めさせていただきますのでよろしくお願ひします。

■企画部長

1点補足させていただきます。事前質問の津田第2自治会からの津田コミセンへの市民課窓

口の設置についての中で、市民生活部長からコミュニティバスの話が出ました。ルートには津田方面から市毛コミセンまでのルートがございまして、コミセンが開設している時間帯に1日7本運行しています。今年も一部見直しをいたしました。人が住んでいないところのルートをカットし、その代わりに住民が多く住んでいる地域、または、高齢者が多く住んでいる団地、こういったところを細かく回るルートに改めたのが基本的な改正ルートでございまして。時刻表を見ますと、津田方面から市毛コミセンまでは1時間20分に1本程度でございまして、ご要望の内容によってはお受けできない事もございまして、こういったルートの見直しは、利用される方のいろんな意見を踏まえて細目に改正したいと考えておりますので、コミバスの運行に関してご要望がありましたら企画部の方にご意見を賜りたいと思います。よろしくお願い致します。

◇質問8

コミバスのお話をさせていただいたので、便乗する訳ではありませんが、西山の方はコミバスの利用は比較的多いと私は感じておりますが、今のコミバスは、今言ったようにルート変更も含めまして、場所が最低限のところを選ぶという姿勢が残っています。それ以外に、この時間を逃すと1時間待ちだという心配ごとが高齢者は常にありまして、20分前から雨の中待つのが体力的には持たないのです。近所の方に聞いたのですが、道路に座り込んで待つパターンのところが多々あります。例えば、郵便局の前でしたら、そこに階段があるのでそれとなく階段に座る事ができませんが、全くの道路上の場合は、砂利・雨水で濡れていた状態で座って20分待つという事ができないので、地域の方からも、見るに見兼ねているというところがあります。従いまして、営業用のバスでしたら、バスの停車場にベンチ、または同等品の設備の増設等があるのかもしれませんが、他の地域はわかりませんが、コミバスの場合は立待ちというのが少しでも解消できればと思います。いずれ、「どこから乗りました」というアンケートを「何分待ちました」と降りるときに口頭でも言いし聞き上げる方法を、字で書くのはちょっと辛いと思いますのでそれを集計して、ここにはベンチを作ろうかと言った事になればうれしいなという懇談という意味で言わせていただきました。

■企画部長

貴重なご意見ありがとうございました。確かに高齢者の方が、炎天下や雨の日に立って待つというのは相当体力的に辛いというのは重々承知しております。バス停にベンチを設置するという事については検討させていただきたいと思います。

◇質問9

市民生活部長と課長にも、すでにお話しを上げておりますが、東電の電気料が上がった事により、防犯灯が年間90万程掛かっており、LEDに替えようという事で、市民活動課長以下と何回も打合せをさせていただいております。昔は多分、裕福な自治会だったと思うので、水銀灯の高級と言いますか付いていまして、それをLEDに取替えるとなると高所作業車でやらなくてはいけないので設置費用が高いです。高いのは仕方ないのですが、もう1回確認したい事と言うか、本日、市議員の皆さんも来ていますので、ちょっと認識していただき

たいと思うのですが、LEDに取り替えるのに、これまで水銀灯がついていた電柱に取り付けるのは更新で新規ではありません。新規というのはあくまでも何もついていない所に取り付けるのが新規ですよ。私はそうではないと市民活動課長以下に話していますが、LEDにするのは初めてな訳ですから、そういう意味では今までの規約と違いますか解釈がおかしいのかなと。市民活動課長はそうなっているからとの事ですが、その辺を早いうちに検討していただきまして、今までLEDでなかったところに付けるのは全部新規扱いでやらないと、LED化の推進が出来ないと思います。私のところはお金がものすごくかかって全部設置をすると600万円位掛かります。市民活動課長と冗談半分ですが、「自治会が破産してしまいます、自治会活動を停止せざるを得ない時が来ます。」と、実際そうなのです。年々世帯数が減ってきて、電気代も高くなっているのですからやりくりが出来なくなってきていますので、是非、LEDの新規扱いの考え方を早めに検討して欲しい。毎年90万くらいかかるのですから、すぐに破綻するのは目に見えているので、何とかお金をやり繰りしていますが、解釈の仕方を早めにご検討いただきたいと思います。

■市民生活部長

LED化につきましては、現在市内に8500灯の防犯灯があります。先程、言われたとおり震災後、電気代が高くなり、自治会運営に支障を来たと言う話をいただいているところです。LED化する部分を新規扱いにして補助金を3万円ずつという形だと思っておりますが、これまでも自治会によっては、そういう問題が発生しまして、交換という形で1万円の補助でやらせていただいた状況のいくつかの自治会もあります。その辺もどう整理をつけるか。勝田本町の防犯灯は、水銀灯でありますので電気料は高いというのは重々承知しているつもりですが、ここにいらっしゃる自治会長さんたちも電気料については苦慮されているところかなと思っておりますが、ここで補助金を1万から3万に上げるというご返事は難しいので、もう少しどういう方法があるのか検討をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

司 会

最後に懇談のまとめを市長より申し上げたいと思います。

■市 長

貴重な示唆に富むまた考えなければいけないご提案や、ご意見をいただきましてありがとうございました。質問するとか提案するにはもう少しまとめなければいけないと思って、少しご遠慮されている方もいらっしゃるのかなと思っておりますので、また別な機会に申し出ていただければありがたいかなと思っております。

時間があるので時間いっぱいやるつもりは全くありませんが、冒頭にちょっと言い足りなかったこともありますので、若干先ほどのお話を含めてお話をさせていただきたいと思っております。武田地区の通学路の問題は、ここ10年できない問題だと思っております。この区画整理事業の問題と申しますか、難しさについては冒頭に申しあげましたが、武田地区も北側と南側のあれだけ高低差があるものを、最終的にどうするかという事になるのです。区画整理の場合は、

平面図の図面で見ると高低差はほとんどピンとこないです。でも、こういう起伏があるもの、流れがどこに排水するかという事も全部考えて計画を作るわけですが、意外に高低差がピンとこないと言いますか、計画どおりに堀口小学校に向かう道路を整備すると大体いくらかかるかという話をしたのですが、担当所長の言い分では10億は下らないだろうという事です。なぜかという高低差を計画通りにやると、均すとなると皆移転をしなければいけないです。武田地区の場合もかなり家屋移転の割合が高いところでもあります。どうしても区画整理というのは玉突きになるので、ここに道路を通す計画にするとそこに家があると移転をする、動かすことになるのです。移転先が十分に空きスペースが在れば動かしますが、かなり密集をしていたりそれぞれの事情がありますので、行く先の方が動いてそしてまたと大体そうなっていますので、かなり事業費もかかるという事です。ただそうだからと言って暫定の道路だけで良いのかというと、家屋移転の関係で交渉しておりますけれど、なかなかご家族の事情があるようでありますが、引き続き何か良い方法が無いか考えさせていただきたいと思っています。

先ほど7地区の区画整理の見直しをやっておりますが、ある地域ではかなりまとまったところを除外するか、若しくは後送りにするか、そういうようなメリハリを付けざるを得ないというものも出てきていますし、津波で避難道路として和田町のほうから神敷台に上がる道路ですね。どうしても区画整理地内を通る。これを優先してやろうという事です。何に優先順位を付けてやるかという事になると思います。皆さんこういう事を言うと少しがっかりするか愕然とするかもしれません。例えば150億くらいかかる残事業費。1年間にいくら区画整理にお金を入れられるかという割り算になるのです。税金を投入することになりますので、1年間に5億だと30年かかるという事になりますし、30年ではなかなか目の黒いうちは終わらないんじゃないかとか、あそこが終わってなんで俺の方はやらないんだとか、そういうことが現実に見直しをしてもおきています。しっかりやはり優先順位を何がこの地域で大切かということ、自治会の皆様方やコミュニティの皆様方、市民会議を含めて、よくご議論させていただいてやるのが大切だと思っております。

先ほどコミバスの話が出ましたけれど、これももどかしい状況でありまして、私はコミバスのスタートするきっかけになったのは、間違いなく津田の自治会の総会の帰りに、バス停の時刻表を見て帰れといわれて、1日に2本くらいになってしまったのです。特に津田地区、それから勝田の中では本郷台の方で、コミバスの要望が非常に高かった。ですから利用も非常にさせていただいているところです。片方ではあまり乗っていないんじゃないのかというルートもあります。少しその辺のバランスもあるので、市内各地大体めぐって走ってはいるのでありますが、できれば山手線のように決してなるわけ無いので、1時間半に1本もちょっときつかなと思うので、ただそれを増やすのはかなりお金がかかるのと、どれだけの利用があるかとの辺の兼ね合いもありますので、常にルートや時間や合理的なものを見直している。ただそう言うときには、あるところを通らなくするとか実質はやっています。コミバスの話は、なかなか今申し上げたような完全という万全という基準からするとまだまだ足りない。またバス停で待つておられることも、非常にわかるわけでありまして。

片方でこの地域の方にもご支援をいただいておりますけれど、湊線も今年10月に新しい駅が、柳が丘の近くに出来ます。あれももともと団地があるのに、湊線が素通りして行ってしまう鉄

道だったのです。団地も高齢化が非常に進んできているので、やはり足を確保するという事でご要望もいただき、中根の駅を見ていると100万や200万で出来るのではないかという感じはありますが、そうはいかないと。今バリアフリーとか列車の運行とかで3000万円くらいかかるのです。国の補助はもらいますけれども、そう言うことで出来れば湊線のほうも、駅を例えば先ほど申し上げた区画整理のところで、道路を通しながらそこに駅をもう一つ作ったらどうかとか、そう言う話もあろうかなと思います。少し大げさな話に聞こえるかも知れませんが、湊線も阿字ヶ浦に止まったままでは仕方ないのではないかと。仕方ないと言っては阿字ヶ浦の人に怒られますけれど、今海水浴の方が震災前の1/3も戻らないです。スポーツ合宿とかそういうものでかなり前に切り替えて、一生懸命にやっておられますけれど、どうせならば海浜公園に行く、それからひたちなか地区に行くというように伸ばしたらどうか。海浜公園に来た人もお魚市場に行く。今回ゴールデンウィーク中それから期間を拡大して、阿字ヶ浦と国営海浜公園間をシャトルバスも運行していますけれども、去年の倍くらい乗っております。この地域では、湊線の話は他人事とは言いませんけれども少しピンとこないかも知れません。コミバスも含めて公共交通でありますので、皆様方のご支援や想像力をめぐらせていただければありがたいと思います。

それと勝田駅の西口の件もありました。これは言い訳を続けてもきりが無い、あのような特殊な形状の道路ですので、かなり考えたつもりです。私も随分どうしたらよいかという事に加わって、こうしたらどうかとやりましたが、こっちがたてばこっちがたたないという話があつて、あれも最終形態ではないと思います。ただやはり整備する際に、どの要素を取ってどの要素は少し我慢していただくかという事について、地元の皆様に事前によくご理解をいただくことも必要なかなと思っております。これ以上のことはやりませんという事では決してありませんので、ご理解をいただきたいと思っております。

介護の予防というか介護の話がありましたが、テレビでも市町村に任せたら格差が出てくるのではないかと、かなりマスコミもそんな取り上げ方もしておりますので、不安な方もいらっしゃると思います。確かに元をただとその事業の財源は、皆さんから収めていただいている介護保険料の、いわゆる介護保険事業の中の財源を当ててやるという事ですから、これはやっぱりある意味での制約というか上限があるというのは、確かに各市町村でやった場合に懸念されることなのです。これもマル福といいまして、小学生や幼児の医療費の公的負担をしていますけれど、これは各市の持ち出しでやっているわけですが、介護の方の話となると介護保険の中での仕切りだという事なので、そこにとらわれて考えますと、ある程度限界があるのかなというふうにも見えます。ただ26年度から、先ほどご説明をしたように金上と高場のデイサービスをやめました。やめたのは、民間がいっぱいやっているからです。民間の方がサービスが良いと言ったら、役所は何しているんだと言われてしまいますが、それだけではないです。充分民間の方で提供されているので、そこをやめまして今5つの教室、たとえば膝痛とか腰痛とかいろいろあるのですが、認知症予防も含めて、各教室を国の目安の27年度から先立ってやっています。どんな効果やどんな取組みをやるのか、送迎をしなければいけないという事で、2ヶ所ですから、これを各市内何箇所かでやるという事になれば、またコミュニティやどの単位でやれば良いとかいう事も、かなり詰めないといけないと思います。場合によっては市の独自

性も発揮をして、厚みを加えとかカバーするという事をやらないといけないと思います。その財源をやり繰りをしなければいけないわけでありまして、やっぱり優先順位の中で、医療費が間違いなく増えていますし、介護の費用も増えていますから、ただこれはある程度止むを得ないことでありますけれど、健康寿命を延ばすことでやはり健康づくり、今高齢者の方々のスポーツ大会をやると大体 1,000 人以上集まります。年に 2 回やっておりますが、スポーツ連会長杯と市長杯と、1,000 人は超えています。6 百何十人はグラウンドゴルフですが、場所がないと言ってこれでは狭くて出来ないと言われていまして、どうしたもんかと思うのですが、これは元気で来ていただく方は、問題ないという怒られますがあまり心配ない。なるべく多くの方が健康づくりも含めて、いろいろな方とお付き合いをしながら活動できる場を作れば、少しは健康また医療費にも良いのかなと思います。

宣伝めいて聞こえるかも知れませんが、全国に比べて 10 万人当たりの医師の数が、常陸太田を含めた医療圏で言うと、下から 4 番目なのです。皆さん実感としてそれほど感じられてないかも知れませんが、医師の絶対数から言っても相当少ない状況でありまして、日立製作所のひたちなか総合病院に支援をさせてもらっています。これは公立病院を市は持っていません。公立病院を持っていると、大体、県内の例で行くと 3, 4 億円くらい毎年赤字、すごいところになると 10 億円位の赤字になって、それでもお医者さんが集まらない。集まらないから診療科目が制限される。そうすると患者さんが少ない。ますます赤字になると、そういう悪循環になっているところが多いのです。幸いなことにと言うと、市民の皆様にも怒られるかもしれませんが、公立病院が無いのでいっその事やはり日製の総合病院には市民病院、公的病院として充分大きな役割を果たしていただきたいし、またやっていただいていると思っております、今筑波大学との連携講座で、教授の方確か 2 人、先生としてのお医者さんが 5 人来ていらっしやいますし、研修医も 22 人という事で増えまして、そして癌の診療拠点病院という事で来年の 4 月を目指して、そう言う動きをしていますけれど、放射線の医療センターとして 4 月にできたのです。1 中地区の会場のほうからお話がありましたけれど、すごく優秀な先生がここに来られて、全国で 5 本の指に入る放射線関係の先生が来られたという事でありまして、そういうことで癌診療については、今までよりもかなり手厚い、いろんな治療が出来る状況になっていますが、医療面での支援というものも大変必要です。ただ懸念としていつまで会社の方で病院をやられるか少し心配もあります。私もはっきり言いますが、日立製作所さんの最大の功績は、物を作って技術開発をして社員の方に給料を払って、そして最終的には税金を納めていただいていることが最大の貢献だと言っています。第 2 番目の貢献は、病院をやっていただいていることだと申し上げております。その点についてもかなりの支出、でもそうは言っても 1 億円は行っていません。日製病院との関係、救急医療、麻酔医の確保ということで、そういう状況でありますので、そういう面にも充分配慮してお金を充当してなければいけないと思っております。

最後に何を言いたいのかと言いますと、市の財政は決して貧乏ではありません。貧乏だつて言うのはどういうところかと言いますと、語弊があるのであまり言いませんが、先ほど義務的経費と言いました、人件費や社会保障関係とかで、これが歳出の大体 45% 占めています。市税が大体 45% ですから最低というかどうしてもやらなければいけないことについては、ほぼ自分の

ところの財源で賄えるというようなレベルだという事は間違いないです。ですから、交付税をもらえない不交付団体になったこともあります。ただそうは言っても余裕がないというのは、先ほど申し上げた区画整理事業を、今まで見直さないで計画どおりやりますと大変な持ち出しになりまして、今、将来負担比率というのが40%から50%という、危険ラインはレッドカードに近いラインは350という数字で、これは夕張市から出てきた数字なのですけれど、それから見るとまだ低いのですが、区画整理事業を全部今後計画通りやりますと300近くなる、これは議会の方にも毎回決算上では参考の数値として報告させていただいておりますけれど、これまで区画整理を淡々とやってきた関係で、学校の改築も影響がなかったかと言われるとあったと思います。そう言う事もありますので、やはり市全体の予算、財源のやり繰りもしながら、時代にあった仕事のやり方を進めて行きたいと思っております。

間違いなく高齢化ですし、子どもが少なくなっております。お金で解決できることとそうでないこと、かなりお金で解決できないことが多い。防犯カメラも警察署からいっぱいつけてくれと要請されました。たとえば昭和通線でいろいろ事件があると、これは予防、抑止もありますけれど、犯人検挙という面でもかなりの決め手になっていると言われております。先ほどの担当部長の答弁の中では、いろいろ考えながらやっていきますということでもありますけれど、市内でもいくつかありますが、防犯パトロールや皆様方にやっていただいている力で、かなりの部分は抑止されていると思うわけでありまして。最後ぎりぎりになると、やはり犯罪また事件を行わないようにするためにはどうするかという、そういう点にも市のほうでも加わらなければいけない。

また振り込め詐欺も最近かなり目立ってしまっていて、おそらく警察から電話がいったお宅もあると思いますが、警察署では警察官が手分けをして電話をしているそうです。でも高齢者がいるかどうかははっきりわからないので、手当たり次第にかけているそうです。それでは非効率なので、高齢者のリストを提供するかどうかの話になったのです。それはそれで良いのではないかと思っております。世の中も非常に変わってきていますので、役所でやらなければいけないことはしっかりやります。これは役所がやれと、何やっているんだという事については当然やります。ここは大変でも地元の方がやっていただければ、カバーできるのではないかという事が増えるかもしれませんし、あんまり増えると大変だろうと思っております。その辺のところも良くここも市民会議がありますし、先ほど軍司会長さんからお話があったように、4月からこの建物の運営は地域の運営になったわけでありまして、その点についても良くご議論をいただいて、また市政に対していろいろご意見をいただきたいと思っております。

ちょっと長いまとめになってしまいましたが、今日だけが市政懇談会だとは決して思っておりませんので、今私が申し上げた事も含めて、こういう事はどうかいろいろなご提案やまたご指導をいただきたいと思っております。貴重な質問の時間が結果的には少し短くなってしまったかと思っておりますが、今日いただいたご意見、その根っこにあるところを充分理解をして対応させていただきます。と思っております。

今後とも市役所に対しまして、また次に期待いただければ良いと思っておりますけれど、ご指導やご提案を賜りますよう、そして先ほど褒めていただきましたが、市報もいろいろ施策や、皆様方にお知らせをするという単なる通知版ではないという事でやって行きたいと思っております。

す。20年という事で節目でありますから、そういう意味でまた今後の発展を含めて、皆様方といろいろな意見交換をして参りたいと思います。長時間にわたりまして、本当に御協力ありがとうございました。